

# 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名	
一般	08	02	05	184130	橋梁整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2 生活基盤の充実				
	施策	1 道路環境の充実				
目的	老朽化、狭あい幅員の橋梁架け替え					
対象	整備が必要な市道橋梁、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）					
意図	安全で快適な通行が可能になる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
橋梁整備 2橋 平成28年度 豊沢橋：上部工桁製作工事（H28-29債務負担、下部工A1、P1、P2（H27-28債務負担） 太田橋：上部工製作・上部工架設工事（H28年度完成予定）						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 測量調査設計	橋		計画	2	2	
			実績	2	2	
② 橋梁工事及び取付道路工事	橋		計画	3	2	
			実績	3	2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 整備（完成）率（天遊橋、似内橋、豊沢橋、太田橋）	%		目標	50.0	75.0	
			実績	50.0	75.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・平成26年度似内橋完成（完成2橋/整備予定4橋＝整備率50%） ・平成28年度太田橋完成（完成3橋/整備予定4橋＝整備率75%）		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市管理橋の整備のため、妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	本事業は、市道橋梁の新設・架け替えを行うものであり、整備後は道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市道橋梁は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・橋梁整備の事業費は高額であるが、重要性、緊急性、要望等を検討し、必要な橋梁整備を今後も進める必要がある		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	05	184130	橋梁整備事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		575,268	361,706		△ 213,562
財源内訳	国・県	339,858	216,187		△ 123,671
	地方債	203,600	130,100		△ 73,500
	その他				
	一般財源	31,810	15,419		△ 16,391

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	---	------	-----------------

部重点施策における目標  
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯  
老朽化および交通量の増加に伴い、架け替えおよび拡幅による整備が必要となった。

事業概要  
橋梁整備 2 橋  
平成 28 年度  
豊沢橋：上部工製作工事（H28-29債務負担、下部工A1,P1,P2（H27-28債務負担）  
太田橋：上部工製作・上部工架設工事（H28年度完成予定）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
・工事の計画的かつ迅速な発注により、適切な工期の設定を行なう。  
・地域ニーズに応じるため、地域の実情に即した設計・規格を設定する。  
・新技術・新工法の採用を積極的に行い、コスト削減を図る。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 重茂 猛 内線 547

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

平成26年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費：366,384千円  
昭和8年 架橋  
事業期間 平成20年度～平成29年度予定  
橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

② 太田橋 事業費：361,200千円  
昭和35年 架橋  
事業期間 平成22年度～平成29年度予定  
橋梁延長 L=144.0m 幅員 W=11.0m  
道路改良 L=320.0m 幅員 W= 8.5m

平成27年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費： 190,384千円（下部工）  
昭和8年 架橋  
事業期間 平成20年度～平成30年度予定  
橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

② 太田橋 事業費：358,200千円（下部工、上部工製作、上部工架設）  
昭和35年 架橋  
事業期間 平成22年度～平成29年度予定  
橋梁延長 L=144.0m 幅員 W=11.0m  
道路改良 L=320.0m 幅員 W= 8.5m

平成28年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費： 192,656千円（上部工製作H28現年分）  
昭和8年 架橋  
事業期間 平成20年度～平成30年度予定  
橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

② 太田橋 事業費： 169,050 千円(旧橋撤去、護岸工)  
昭和35年 架橋  
事業期間 平成22年度～平成29年度予定  
橋梁延長 L=144.0m 幅員 W=11.0m  
道路改良 L=320.0m 幅員 W= 8.5m